

地区福祉検討会の開催結果 ～意見の詳細～

一 小校区

生活に関する課題と今後の取り組みについて（●…課題、→…取り組み）	
福祉（高齢者や障害者、子ども）について	● 一人暮らしの高齢者の安否確認など、どこまで踏み込んでいいのかわからない → 高齢者に毎日、元気ですというサインを玄関に出してもらう ● 高齢者への虐待について → 気づいたら民生委員や行政に相談し、地域で見守りながら解決する ● 高齢者にどう接したらいいのかわからない → 常に福祉の意識を心がけて接するようにする ● 小学生の登下校時に、事件や事故に巻き込まれないか心配 → 地域の大人の声掛け運動を活発にし、見守り体制を作る ● 大型スーパーは便利だが、夜に学生（子ども）が徘徊する原因にならないか → 地域の人たちで見まわりをする ● 子どもの遊び場がほしい ● 公園に木が多く、子どもが遊ぶときに危ない → 子どもが安心して遊べるように植木などは多くしないようにする
地域福祉活動について	● 高齢者に対してのボランティア活動に若い人が少ない → 町会で協力を呼びかける ● 朝の挨拶運動を福祉委員会でやっているの、この輪をもっと広げたい → 今後も続けるように努力をしていく
その他（住民交流や生活環境など）について	● 中学生の喫煙が多くみられる ● 中学生の礼儀が悪い → 子どもだけの問題ではなく親のモラルにも訴えるべき → 地域で声掛けをし、子どもとの交流をはかる → 学校と地域が連携をとる ● 駐車違反が多い → 駐車違反に関しては自らもモラルを持つよう心がける ● 方向指示器を出さない車がいる → 地域の危険な場所を示し、回覧で促す ● たばこ、空き缶のポイ捨て、犬のフンの問題 ● 店のゴミを放棄する → 罰金制にしてその場で徴収する → 町単位の掃除をできるだけ行なう → 個人のモラルの問題だが、看板を立てたり回覧をまわす ● ワンルームなどのポストのゴミや、引越しの粗大ゴミが多い → マンションのオーナーへの指導 ● 電話での勧誘や新聞の訪問勧誘が多い → むやみにドアを開けない。ドアを開けるときには必ず相手の確認をとる

関係機関に支援が求められていること
＜以下についても支援を望む声がありました＞ ● 街灯の増設 ● 老朽化している避難所の改築 ● 違法駐車を取り締まり ● 高齢者の就労場所の確保 ● 一人暮らしの高齢者宅の訪問 ● 小学校同士の情報交換ができるように、連絡網を作ってほしい ● 下水道の整備 ● 公共のトイレの増設 ● 道路の拡幅工事 ● 排水設備の強化 ● 公共の大きい溝の掃除 ● 鉄工所の夜間の騒音防止の指導

二小校区

生活に関する課題と今後の取り組みについて（●…課題、→…取り組み）	
福祉（高齢者や障害者、子ども）について	● 近所に親しい人がいない（高齢者） → 玄関に友人募集の張り紙をしたり、自ら趣味などの活動を増やす → 参加する人にわかりやすく、サークルなどが、会の紹介を広く行う
	● 通学路の安全対策ができていない → 歩道と車道を分ける安全柵を取り付ける
	● 子どもを夜中に連れまわす親が多く、教育上悪い → 夜 10 時以降子どもの入店を親同伴でも禁止する
	● 大人が横断歩道を渡らないなどルールを守らなければ、子どももルールを守らなくなる → 大人が手本となるように心がけて実践する
	● 通院する病院が遠いので困っている ● 空連道の横断信号が短く、小学校低学年では渡りきれなく、危険 ● 二小にプールがなく、校舎の老朽化がめだつ。また、グラウンドの水はけが悪い
地域福祉活動について	● ボランティア会議などの開催日を平日以外にするように考慮してほしい ● 交通安全週間にボランティアで立ち会うが、教員は車で出勤し、挨拶もなく、出勤時間も遅い。この期間は早めに出勤してほしい（校長先生は早く来ている）
その他（住民交流や生活環境など）について	● 防犯灯が少ない → 町会役員が定期的にチェックする（高松東町はそうしている）
	● 地域以外の方がゴミを捨てにきたり、ごみ収集日を守らずに、ごみが出してある → ゴミがでないように、家庭でゴミの量を減らすように取り組む
	● タバコやごみのポイ捨て、犬のフンの不始末で町が汚い ● 車の違法駐車と、自転車の不法駐輪が多い → マナーを守れない人が多いので、罰金制度を作る → 地域でパトロール隊を作り、見回りを強化する → ゴミ箱が少ないからポイ捨てがあるので、ゴミ箱を設置する
	● 学校横に家があり、ボールなどがよく飛び込んでくる → 根気よく、なくなるまで、張り紙などをする
	● 空き巣が多い → セキュリティ対策をとる。防犯グッズの取り付けをする → 家の周りに死角を作らないようにする
	● かご池公園が実用的でない → 芝生や木蔭を増やし、地域の人たちがくつろげるスペースを作る
	● 町会へ入らないために嫌がらせのビラが貼られてある ● となり組に入らない世帯がある、入っても掃除などに出てこない人がある ● NHKの映りが悪い
	（今回は取り組み案が出ませんでした）

関係機関に支援が求められていること
→ タクシー代などを一部補助してくれる仕組み作り → 予算組みのときに、福祉、教育を第一に考えてほしい
→ 教育委員会など通して、教員に注意してもらいたい
<行政への質問> ● 末広公園にたくさんあったゴミ箱がなくなったのはなぜ？ <行政への提案> ● ごみ収集の分別について、資源ごみに加え、天ぷら油の回収をしてはどうか <以下についても支援を望む声がありました> ● 道路の穴や、でこぼこしている所の補正 ● 主幹線道路の拡張計画のレベルを高くする ● 高松郵便局から二小区間の信号の設置 ● 泉佐野駅前にパチンコ店ができるので、近隣への迷惑防止の指導 ● 市民の苦情に対して、親切的な行政の対応 ● 粗大ごみ回収の無料化 ● アパートで表札がない家が、無人かどうかの点検 ● イチョウの木の枯れ葉の清掃 ● ときよし横の道路にでこぼこが多く、夜間暗いので、整備と街灯の設置 ● 自転車の無灯火の取り締まり ● 地域の人たちが気軽に集まれるコミュニティセンター的なものの建設 ● 下水道、溝、水路を衛生的に。飲食業者が水路へ残飯を捨てないよう指導 ● 閑空への連絡道路下のホームレス対策 ● 四町会館付近への郵便ポストの配置 ● 子どもの遊び場がないので公園の整備

三小校区

生活に関する課題と今後の取り組みについて (●…課題、→…取り組み)	
福祉 (高齢者や障害者、子ども) について	● 高齢者の一人暮らしが多い ● 認知症気味の高齢者の扱いに困っている → ネットの訪問回数を増やす → ボランティアで見回りをする
	● 子どもが少ない。まち歩きをしているが、赤ちゃんの鳴き声なども聞かれない ● 後継者がいなくて空家が多く、火災などが心配 → 出産奨励金を多く出す → 結婚相談所を設ける
	● 車がスピードを上げて、小学校の通学路を通るので子どもに危険が及ぶ → 運転手の交通マナーの向上を促し、自らも注意する
	● シルバーカー利用者が、道の段差によって外出がしにくい
	● コミュニティバスは、70歳以上は無料にしてもらえないか
	● 隣に住んでいる人がものすごい剣幕で子どもを叱っている
地域福祉活動 について	● 福祉ボランティアの後継者が少ない → 町会の役員は、できれば夫婦で積極的に参加するようにする ● 仕事をしている人が多く、ボランティアをする人が少ない ● 婦人会に入会する人が少ない → 地域で呼びかける
その他 (住民交流や生活環境など) について	● 犬のフンの不始末 ● 野良犬や野良猫、ハトが多く、フンがたくさんあって困る → 看板をたてて、エサをあげないことや、マナーを守るようにPRする → エサを与えないようにする → 犬のフンの始末ができない人へ罰金制をとり入れる
	● 春日町会館の前に違法駐車が多い ● ごみの分別が徹底していない ● 春日公園にごみを捨てに来る人がいる ● 川にごみを捨てる習慣が残っている → 直接注意するとトラブルになるので、見かけたら、関係機関に連絡をする
	● 門灯を点灯しない家が多い ● 町内に街灯が少ない → 一戸一灯運動が始まっている地域もあるので、防犯のためにも見習いたい
	● 年に一度の祭の運営が大変（人員と資金） ● 町内会館の運営費の捻出が大変
	● 高齢者と若い人との交流が少ない ● 文化的な事業が少ない
	(今回は取り組み案が出ませんでした)

関係機関に支援が求められていること
→ 行政へ見回りをお願いする
→ 道路の整備
→ 補助金の捻出
→ 虐待につながらないように指導する
→ 個人のモラルを向上させるように指導する
<以下についても支援を望む声がありました> ● 道幅と溝の整備 ● 府道りんかい線の整備 ● 保健所を市内の中心地へ ● 貸し自転車を増やす ● 自動車やバイク、飛行機の騒音問題解決 ● 閉店した店の看板の撤去指導 ● 不審者の取り締まり ● 自転車盗の取り締まり ● 公衆トイレの増設 ● 掲示板の増設 ● 痴漢やひったくりの防止策

日新校区

生活に関する課題と今後の取り組みについて（●…課題、→…取り組み）	
福祉（高齢者や障害者、子ども）について	● ひとり暮らしの高齢者に声をかけても返答がなく、状況がわからない ● 高齢者が増えてきて、町会の役員を引き受けてくれる人がいなくなってきた ● 元気な高齢者の過ごし方はどうすればいいか → 家の中にこもりがちな人を、外へ連れ出すように日頃から仲良くする → 笛を渡しておき、何か起きた時に笛で知らせるようにする → 近所がお互いに関心を持つようにする ● 最近、凶悪犯罪が多くなってきているので、子どもを連れて外に出るのが不安 → 犯罪者は、愛情不足で精神的に不安定になることが多い。また、母親の虐待防止のためにも子育て支援を充実させる ● 介護ヘルパーの食事がおいしくない → ケアマネージャーに相談する ● 外で遊ぶ子どもの姿がない → 近所付き合いを良好にし、どこにどんな人が住んでいるのかを把握し、地域で子どもを見守る習慣をつける ● 福祉の対象者はどの範囲まで頼みごとをしていいのかわからない → ボランティアをしている側は、必要以上のことや、大きな負担になることはできないが、普段の付き合いからできる、できないを判断している。 ● 知的障害者の生活不安
地域福祉活動について	● 若いボランティアの人が少ない ● 地域の世話をする人たちが高齢化し、若者はソッポを向く。どうすればいいのか → 学校教育で、ボランティアの大切さを教える
その他（住民交流や生活環境など）について	● 町会に入会しない世帯をどうすればよいか → 日頃から近所との付き合いをよくしておく ● 体調が悪いときに交通が不便で病院に行きにくい → 近所の人に協力してもらう ● 犬のフンやごみのポイ捨てが多い → 罰則を設ける → 看板を立てる → 個人のモラルを向上させるように家庭での道徳教育をしっかりとる ● ごみの不法投棄が多く、車などで捨てにくるので困っている → 物を売るときに、リサイクル料金を乗せ、返せば料金が戻ってくるという仕組みを作る。そうすれば捨てないようになるのではないかな ● 失業が多い → 職種を選ばない ● 祝日の日の丸の掲揚がない ● 地域で注意しなければならない人物がいるときにその対処方法がわからない ● 近所のスーパーがなくなると、高齢になるにつれ不便になってくる ● 農業の後継者不足 （今回は取り組み案が出ませんでした）

関係機関に支援が求められていること
<行政への質問> ● 分別収集に協力しているのに、一括して収集車に入れているのはなぜ？ <以下について支援を望む声がありました> ● 道路の段差をなくす ● 駐車違反が多いので、看板を立てるなど啓発してほしい

北中校区

平成 16 年度事業方針（北中地区福祉委員会発行の資料より）	
重点目標	● 泉佐野市や社会福祉協議会、その他の関係機関との連携をはかって、個別支援活動を基本とした小地域ネットワーク活動のより一層の推進につとめます ● 未来を担う子どもたちを地域ぐるみで育むため、福祉教育を推進し、子育て支援を視野にいれた活動の展開につとめます ● 地域の実態を把握し、それに対応したきめ細かな活動を展開するため、支部活動ならびに、専門活動の充実につとめます ● 福祉委員それぞれの自覚と資質の向上を目的とした研修会を開催し、地域福祉活動に関する知識および技術の習得につとめます
事業計画	● 地区福祉委員会活動推進の強化 ● 小地域ネットワーク活動の充実と推進 ● ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯の実態把握 ● ひとり暮らし高齢者誕生月友愛訪問活動の推進 ● 小学校との連携の強化 ● 地区ボランティア講座の開催 ● 福祉だより＜ふれあい北中＞の発行（年 2 回） ● 研修会の開催 ● その他（活動推進に必要な事業）
平成 15 年度小地域ネットワーク活動 個別・グループ活動の実績	
北中支部 4 月 広報委員会、推進委員会、総会 6 月 北中小「七夕まつり」開催準備 7 月 北中小「七夕まつり」開催準備とひとり暮らし高齢者の介助 8 月 広報委員会 9 月 北中小運動会参加のひとり暮らし高齢者の介助 10 月 広報委員会 11 月 推進委員会・協力員合同会議、北中小児童と高齢者との交流 12 月 ひとり暮らし高齢者 X マスケーキ配布、推進委員会・協力員会議 1 月 北中小児童と高齢者との交流会、北中小子どもまつりに参加の高齢者の介助 2 月 推進委員・協力員合同研修会、北中小クラブ発表会に招待された高齢者の介助 3 月 広報委員会、推進委員会	

平成 15 年度小地域ネットワーク活動 個別・グループ活動の実績	
鶴原支部 (ひとり暮らし高齢者の誕生日プレゼント配布…B.P 配布)	
4 月	定例会、町内清掃、ふれあいサロン、福祉委員会、B.P 配布、配食と声掛け
5 月	定例会、ふれあいサロン、B.P 配布、配食と声掛け
6 月	町内清掃、定例会、ふれあいサロン、B.P 配布、配食と声掛け
7 月	町内清掃、定例会、ふれあいサロン、B.P 配布、配食と声掛け
8 月	町内墓地清掃、B.P 配布
9 月	町内清掃、定例会、ふれあいサロン、B.P 配布、配食と声掛け
10 月	定例会、ふれあいサロン、B.P 配布、配食と声掛け、秋祭りシルバー介助
11 月	町内清掃、定例会、ふれあいサロン、B.P 配布、配食と声掛け、高齢者と子ども会の交流会
12 月	定例会、ふれあいサロン、B.P 配布、配食と声掛け、ひとり暮らし高齢者 X マスケーキ配布、餅つき大会 手伝い
1 月	B.P 配布、配食と声掛け
2 月	町内清掃、定例会、ふれあいサロン、B.P 配布、配食と声掛け
3 月	定例会、ふれあいサロン、B.P 配布、配食と声掛け、ひとり暮らし高齢者花見会
下瓦屋支部 (ひとり暮らし高齢者の誕生日プレゼント配布…B.P 配布)	
4 月	B.P 配布、配食と声掛け
5 月	定例会、B.P 配布、配食と声掛け
6 月	B.P 配布、配食と声掛け
7 月	定例会、B.P 配布、配食と声掛け
8 月	B.P 配布、児童と高齢者との交流会
9 月	定例会、B.P 配布、配食と声掛け
10 月	B.P 配布、配食と声掛け
11 月	定例会、B.P 配布、配食と声掛け
12 月	B.P 配布、配食と声掛け、ひとり暮らし高齢者 X マスケーキ配布、餅つき大会と準備
1 月	定例会、B.P 配布、配食と声掛け
2 月	B.P 配布、配食と声掛け、新協力員勧誘
3 月	B.P 配布、配食と声掛け、新協力員勧誘
中央住宅支部 (ひとり暮らし高齢者の誕生日プレゼント配布…B.P 配布)	
4 月	定例会、B.P 配布、配食、ふれあいサロン
5 月	定例会、B.P 配布、配食、ふれあいサロン
6 月	定例会、B.P 配布、配食、ふれあいサロン
7 月	B.P 配布、配食、ふれあいサロン、ソーメン大会と準備
8 月	定例会、B.P 配布、ふれあいサロン
9 月	定例会、B.P 配布、配食、敬老会と準備
10 月	定例会、B.P 配布、配食、ふれあいサロン
11 月	定例会、B.P 配布、配食、ふれあいサロン
12 月	定例会、B.P 配布、配食、ふれあいサロン、ひとり暮らし高齢者 X マスケーキ配布
1 月	定例会、B.P 配布、配食、ふれあいサロン
2 月	定例会、B.P 配布、配食、ふれあいサロン
3 月	定例会、B.P 配布、配食、ふれあいサロン

長坂校区

生活に関する課題と今後の取り組みについて (●…課題、→…取り組み)	
福祉 (高齢者や障害者、子ども)について	● 高齢者の友達がいない ● 高齢者一人暮らしになった時不安 → 若者との交流もできるように、魅力あるふれあいの場をつくる
	● 一人暮らしの高齢者へのお手伝いについて、トラブルにならないか → 買い物などは金銭トラブルを防ぐ為、必ず二人で行動する
	● 近所付き合いが薄れ、一人暮らしの高齢者が生活に不安を感じる ● 一人暮らしの高齢者の方の把握があまりできていない → 近所の人が、高齢者に積極的に話しかけるなど、日頃から交流を図る
	● 高齢者の自転車は危険ではないか → 健康の為にも徒歩を心がけるようにする
	● 子どもの登下校時が危ない → 地域でパトロールする
	● 中学校が荒れている → 学校と地域が協力し、連携をとって子どもを見守る
	● 子どもの虐待の話をする → 近隣に関心をもって付き合う
	● 中学生の喫煙について → 注意しにくい世の中なので、やさしく話しかけるしかないのではないか
	● 中学生の不登校の問題 ● 公園がなく、子どもが遊ぶ場所がない ● 災害時の避難場所が遠いので高齢者にとっては不安を感じる ● 市役所財政難の為、年金や高齢者への色々なサービスがカットされ困る (今回は取り組み案が出ませんでした)
地域福祉活動について	● 若者の参加が少ないため、地域のイベントがない → 若い方のボランティアをふやす ● 婦人会の会員数が少ない
	● 市役所、病院が遠い ● 病院が遠い → マイカーの有効利用
その他(住民交流や生活環境など)について	● 犬のフンの不始末 ● 東泉佐野駅前のゴミの問題 ● 路上駐車が多い ● 会館のゴミ箱に家庭ごみを捨てに来る → 啓発の看板をたてる → 個人のマナーを高めると共に罰金制度にする → 各地域で啓発の回覧をまわす
	● 地域の産業がさびしい ● 後継者がいない (今回は取り組み案が出ませんでした)

関係機関に支援が求められていること
→ 行政に見回りなどをお願いする → 不安にならないように、地域福祉計画の中で強く訴える
→ 教育委員会に指導をお願いする
<以下について支援を望む声がありました> ● マツゲンの前の信号の設置 ● 市役所が遠いので出張所の建設 ● スーパーやコンビニに集まる若者のパトロール ● 道路の整備と街灯の設置。東佐野駅前の美化と街灯の設置 ● 鶴原駅踏切の危険防止のため、駅前の交番に警官を配置することと、駅員の 24 時間待機 ● 乗り捨て自転車や路上駐車を取り締まり ● 水洗トイレのための下水工事 ● 不法投棄防止のため、粗大ゴミの申し込み制の廃止 ● ペットボトル・トレイなど、資源ごみの回収 ● 住宅の排水溝の掃除 ● 税金や介護料金の値下げ ● コミュニティバスの運行ルートと時刻を増やす

日根野校区

生活に関する課題と今後の取り組みについて (●…課題、→…取り組み)	
福祉 (高齢者や障害者、子ども)について	● 福祉のお世話になりたくないという考えの高齢者にどう接すればいいか ● 介護保険の仕組みが高齢者に理解されていない ● 一人暮らしの高齢者とのコミュニケーションの取り方が難しいときがある → 介護保険や高齢者に関する出前講座を利用するよう促す
	● 老人長生会の市の補助金が少ない → 長生会の活動の中で節約を考える
	● 高齢者の一人暮らしで収入がない、あるいは低収入の高齢者の生活難 ● 高齢者の給食サービスを受けようとしても現実的には難しい問題がある ● シルバーの仕事が少ない
	● 子どもを対象にした誘拐や痴漢などの凶悪犯罪が多いので、外で遊べない → 地域のボランティア活動として子どもたちの登下校の時に巡回する → 散歩をしている人が多いので、時間を子どもたちの登下校に合わせ、見守る
	● 身体障害者のバリアフリーのための道路の歩道や信号機を整備する必要がある
	● 駅前に集団でたむろしてタバコをすったりして、風紀が気になる
	● 下校はグループ下校だが、学童クラブの帰りに少人数で帰っているのは危険 → 町会員やPTAに依頼し、地域で安心・安全の登下校ができるように協力する
	● 小学生の増加で、校舎の増築に伴い、運動場が狭くなっている ● 子どもの遊び場が少ない。大きい公園があれば、住民の憩いの場にもなるだろう
	● 町会に未加入の世帯が増えている → 町会のよいところや、長生会や子ども会などのイベントをPRする → 盆踊りなどイベントをもっと開催する
地域福祉活動について	
その他 (住民交流や生活環境など)について	● 新しい家が建ち、住民が増えて、名前のわからない、知らない人が増えている → みんなが集えるような新たな行事を計画し、参加してもらうよう声掛けをする → あいさつ運動のような形であいさつを交わす → 新旧の住民がお互いに、心の壁を持たないようにする
	● ゴミ出しのマナーが悪い。地域外の人が車で捨てに来る ● ゴミ置き場のゴミに犬やカラスが来て散らかって困る ● たばこや空き缶、ビンのポイ捨て、犬のフンが多い → 啓発の看板を作って立てる → 罰金制度を設ける → カラスの嫌いな黄色いゴミ袋を使う
	● 農作物をつぶしていても、悪いことをしていると思わない子どもが多い → 地域の人が見たら積極的に注意する
	● マンションへの出入りが多くて住人かそうでないのかわからない → マンション内の自治会などで話し合いを進めてもらう

関係機関に支援が求められていること
→ 生活保護や補助が受けられるよう行政に要望していく → 行政にサービスが行き届くようにしてもらう
→ 行政にバリアフリー化を要望する → 一般住民では反感をかうだけなので、警察やパトカーに重点的に巡回してもらう
→ 行政で運動場を広くすることを検討してほしい → 公園の建設
<以下について支援を望む声がありました> ● 暗いところが多いので防犯灯の増設 ● 通学路での路上駐車の取り締まり強化 ● みどり保育所の送迎車の路上駐車 ● 駐車場がないのが問題なので、保育所に対策をお願いする ● 車椅子を押せないで、歩道の拡幅工事 ● 下水道の工事 ● 通学路が狭くてあぶない。小学校付近の登下校時間帯の通行規制 ● 日根野独自の公民館の建設 ● 水害対策 ● 日根野駅付近のエスカレーター、エレベーターの設置 ● 利用しにくい日根野駅周辺の小さな公園の整備 ● たくさんあるため池の整備

長南校区（長滝）

生活に関する課題と今後の取り組みについて（●…課題、→…取り組み）	
福祉（高齢者や障害者、子ども）について	● 子どもが集団で遊ぶ姿が見られない ● 誘拐など子どもが巻き込まれる事件が起こり、不安 → 子どもたちの登下校時に、地域の人が外に出て見守ったり、声かけをする ● 子どもの遊び場が少ない → 放課後の小学校のグラウンドを開放し、地域の人が見守りをする
地域福祉活動について	
その他（住民交流や生活環境など）について	● 核家族が増え、世代間のふれあいが少なくなっている → 声かけ運動（道で会ったときは声を掛け合い、お年寄りに進んで話をする） → 地域でも、交流の機会をできるだけ多く作る ● 子どものしつけができていない。屋根に上ったり、ゴミを捨てたりする → 学校や家庭でしつけをする → 親のモラルも低下しているのではないかな。それぞれが自分で正していく ● 違法路上駐車や迷惑駐車がある → 住民がグループを組んで見回りをする → シルバー人材センターに依頼し、見回りをする（高齢者の就労にもつながる） → ステッカーを作り、貼る ● ごみの不法投棄やポイ捨て、犬のフンの不始末でまちが汚い ● 地域で清掃活動をしたにもかかわらず、樫井川の中や土手に不法ゴミが多い → 個人のモラルの問題だが、モラルを徹底するためのキャンペーンをする ● 野良猫がたくさんいて、生ゴミを荒らす → 猫にえさをやらないようにする → ゴミにネットをかける ● 長滝で放火がありました。増える恐れがあるので注意してほしい → 自分たちで夜回りをする ● 長滝駅は午後7時以降、無人になる → 人気がないなど、危険な場所の情報を集め、マップを作成し住民に配る ● 勧誘やキャンペーンなどの迷惑電話が多い ● 信仰のすすめの訪問が多い → 電話番号を変えるなど、個人的にそれぞれ対処する ● 空き巣が多い ● 校区が入り混じっていて、通学時にどこの小学校の児童かわからない ● 授業参観や運動会など学校行事の時に駐車違反が多い （今回は取り組み案が出ませんでした）

関係機関に支援が求められていること
→ 警察でパトロールを強化する
＜以下について支援を望む声がありました＞ ● 街灯の増設 ● 監視カメラの設置 ● 災害時の避難場所を住民に告知

長南校区（南中）

生活に関する課題と今後の取り組みについて（●…課題、→…取り組み）	
福祉（高齢者や障害者、子ども）について	● 高齢者の一人暮らしが増えてきている。異常があったときの対処について → 緊急時の処置の方法を、専門家を呼んで教えてもらう
	● 一人暮らしの高齢者が遠慮から、協力員の支援を受け入れない ● 別居が多く、一人暮らしの高齢者が多い → 隣組等の小グループを作り、声かけを行うなど、地域での見守り体制を整える → 地域の催しなどに多く参加するように促す
	● 高齢化社会になってきているので、介護などの出前講座ができないか → 地域の看護師などの協力を得て、講座を開く
	● 高齢者でも仕事ができる人は多いのに、仕事のない場がない → シルバー人材センターに加入する
	● 災害時に指定された避難所は遠く、高齢者には不便。町内の会館を開けてほしい → 近くの町会役員が会館の鍵をあけることができるようになっている
	● 一人暮らしの高齢者宅への訪問の回数を増やしたいが、人が足りない ● 高齢者の誕生日に、花束をプレゼントしているが資金が少ない
	● 地域に高齢者用のスポーツ施設が少ない ● 一人暮らし高齢者へ補助金などの支給がなく、生活がきつい ● 高齢者同士の交流の場（出会いの場）への参加が少ない
	● 挨拶をする子どもが少ない → 親の教育を徹底させる
	● 子どもたちの安全確保について → 家庭、学校、地域で子どもたちを見守る体制を作る
	● 子どもを叱る声が聞こえる → 虐待につながらない様、地域で交流して日頃から注意する
地域福祉活動について	● 隣組へ入会しない人の問題 → 魅力ある町会作りをする
その他（住民交流や生活環境など）について	● 不法駐車が多い ● 犬のフンの不始末 → 監視カメラをつける → 隣組長会議で話合う ● 工場からの騒音や悪臭 → 署名活動を行う ● 住民の新旧の融和について → 住民同士が、お互いに歩みよる ● 野良猫が多い → むやみにエサをやらないようにする

関係機関に支援が求められていること
→ 避難後の高齢者へのケア（声かけなど）を積極的に行なってほしい
→ 市の職員も手伝ってほしい → 市から資金の援助がほしい
→ 行政が、高齢者への対策をしっかりとたててほしい
→ 警察でパトロールを強化する
<以下について支援を望む声がありました> ● 工場などへの騒音、悪臭対策の指導 ● 避難所の改善 ● 都市ガス化、水洗化 ● 税金を安く ● 介護施設などの情報提供

上之郷校区

生活に関する課題と今後の取り組みについて（●…課題、→…取り組み）	
福祉（高齢者や障害者、子ども）について	● 一人暮らしの人（特に高齢者）が、近隣に対して遠慮がちである ● 高齢者同士の話相手がいない ● 高齢者になっての一人暮らしが不安 → 気軽に相談などができるような雰囲気地域で作っていく → 挨拶や声かけなどを積極的に行う → 若い人たちの力を借りて、それぞれの環境に応じた支え合いをする → 一人暮らしの支え合いガードを作る
	● 高齢者の介護について、地域だけでは限界がある ● 高齢者にも就労機会を与えてほしい
	● しつけができていない子どもが多い → 親の教育の機会を多くし、しつけの強化を促す → 子育て支援の充実
	● 子ども（小学生や中学生）が巻きこまれる犯罪が多い → 地域住民の見守り。防犯意識を高める
	● 子どもと交流をはかりたいが、警戒されてしまう → 自分から、積極的に声かけや挨拶をする
	● 支え合いのできる町にしたい → 福祉委員会の発展と、協力体制の強化の要望を提唱する
	● 学童保育がない → 塾に通っているなどの理由で学童保育を行うには数が少ないのではないかな
	● 子どものための大きな広場がない・子どもの遊び場がない （今回は取り組み案が出ませんでした）
地域福祉活動について	● 若い人たちの福祉活動参加者が少ない ● 各世代間の日頃の交流が少ない（特に、中高年層と若年層との交流） （今回は取り組み案が出ませんでした）
その他（住民交流や生活環境など）について	● 不燃ごみ（ビン・缶）の収集日を守らない → ルールを守るように話合う
	● 噂話が多かったり、近所付き合いが多いので困る時がある → ムダなものは省き、他人の事に深く干渉しないという認識をもつ
	● 町会館が使用できない期間（祭りなどの時期）の代用場所がない → 改善センターを使用できるように要望する
	● 地域の歴史を伝える機会が少ない → 盆踊りや祭礼があるので、参加者が増えると伝えられるのではないかな
	● 外部からの不審者への対応 → 地域でのパトロールの強化をする
	● 上之郷地区全体で、皆で集えるような交流の場所がほしい ● 役員の用事が多すぎる ● 川へ物を捨てるという習慣がある （今回は取り組み案が出ませんでした）

関係機関に支援が求められていること
→ 高齢化社会へ向けて、行政でも対策をお願いしたい
<行政へお願い> ● 地区住民に対しての活動の押し付けはやめてください <以下について支援を望む声がありました> ● コミュニティバスの運行の見直し（増便してほしい） ● タバコのポイ捨てや、犬のフン害、川（水路）のごみの不法投棄防止の強化対策

大木校区

生活に関する課題と今後の取り組みについて（●…課題、→…取り組み）	
福祉（高齢者や障害者、子ども）について	● 町の高齢化・過疎化 → 大木の町のよいところをアピールする（人情が厚く、自然が多いなど） → 若い人が町で働けるよう職場（工場など誘致）をつくる
	● 少子化について → 学校の区域制度をなくし、どこからでも子どもが来られる体制を作り、町の活性化をはかる → 出産時、町会から補助を出す（物品・お金）
地域福祉活動について	
その他（住民交流や生活環境など）について	● 府道の交通量が多い → バイパスを造る
	● ゴミの置き場のカラスの問題 → 大型ゴミ置き場は蓋つきにすればよいのでは
	● 農作物のイノシシ被害 → イノシシ対策にどれくらいの費用がかかるかを算出し、補助を要請する
	● 町内の市道の傷みがひどく、道幅が狭く危険 → 道路整備、拡張の必要性を訴える
	● 櫻井川の汚染 ● 空き缶やゴミのポイ捨てや犬や猫のフンの問題 → 個人のマナーの向上を訴える
	● 地震など災害時に山崩れなどの不安 ● 水害時の櫻井川の問題 → 危険箇所を明示する → 碎石場跡地の緑化
	● 病院が遠くて不便 → 巡回バスを通してもらうよう要請する
	● 近くにスーパーやコンビニがなく、不便 ● 診療所がほしい
	(今回は取り組み案が出ませんでした)

→ 行政からの補助金制度を整える
→ 道路の幅を広げたり、修復作業をしてほしい
<行政への質問> ● 地区内の保育所が九時からしか利用できないが、他の公立保育所も同じなのか？ <以下について支援を望む声がありました> ● 下水道の整備 ● ゴミの不法投棄防止の取締りの強化

土丸地区

生活に関する課題と今後の取り組みについて（●…課題、→…取り組み）	
福祉（高齢者や障害者、子ども） について	● 少子高齢化で、後継者がいない → 若い人たちが住めるように魅力のあるまちづくりをする
	● 農協もなくなり、高齢者の買い物が不便 ● 老人ホームは多いが、お医者さんがいない ● 近くに病院がなく、高齢者の病院通いが大変 ● 高齢になるとお墓に行くのが大変 → コミュニティバスの運行ルートを増やし、近くに通してもらう
	● 核家族が増え、高齢者夫婦や高齢者の一人暮らしが多くなり心配 → 夫婦で支え合い、近隣との付き合いも円滑にし、地域内で互助精神を養う
	● 高齢者が集える趣味の場所がない。習い事やゆっくり話せる場がほしい → 集会所を活用でしないか検討する
	● 子どもの遊び場がなく神社などで遊んでいるが、危険が多い → 子どもに声掛けなどをして危険なところへ行かないように注意する
地域福祉活動について	
その他（住民交流や生活環境など） について	● 犬や猫のフンの不始末やゴミの不法投棄 → 立て看板を作る
	● アライグマやイノシシに作物を荒らされる → アライグマは人間が飼っていたもの。ペット業者は正しい指導し、販売する → 駆除の要請を猟友会にする → 自分たちで免許を取って罠をしかける
	● 魚屋さんがこない → 連絡をとってみる
	● 枯れ木などを焼却すると煙があがり迷惑である → 回覧板を回して焼却しないようにお願いする
	● 生活排水路の整備が遅れている
	● 駅が遠い ● 買い物が不便 ● 娯楽施設がない ● 休日に雨が多くて困る ● 近くに金融機関がない ● 息子にお嫁さんがこない（後継者ができない） ● 田畑を守っていくのが大変
	(今回は取り組み案が出ませんでした)

関係機関に支援が求められていること
＜以下について支援を望む声がありました＞ ● 高齢者の生活支援をしたくても手を出せない人への支援 ● 仕事がないので就労先を作ってほしい ● 田畑を荒らす動物の駆除対策 ● コミュニティバスの運行ルートの見直し

佐野台校区

生活に関する課題と今後の取り組みについて (●…課題、→…取り組み)	
福祉 (高齢者や障害者、子ども)について	● 高齢者には階段がきついで、公団で下の階に住みたい
	● 高齢者や病気の人が日用品を気軽に宅配してもらえないか
	● 高齢者の声を聞く場が無い
	● 一人暮らしの方の安否確認 → ブザー、無線などを使う → 地域の声掛けを組織化して行う
	● 一人暮らしの方や老夫婦の家庭への訪問の仕方や把握 → 隣近所で声を掛け合い普段から交流しておく
	● 高齢者夫婦二人暮らしや一人暮らし世帯では夜の急病時が不安 → 隣近所で声を掛け合い普段から交流しておく → 市の緊急通報システムを使ってはどうか
	● 小学校登校時の見守りPTAの数少ない → 親がもう少し関心を持つ
	● 朝の立番の時、子どもたちの態度が悪く挨拶もできない ● 登校時間が遅く、服装が乱れている → 大人が積極的に挨拶をするなどして、子どもと身近な関係をつくる
地域福祉活動について	● 高齢者パワーをどのように活用するか → 町会全体がボランティアになる → 組織の強化。班長全員を協力員として町会と一体化して活動する → 趣味ごと、近隣ごとなど活動しやすいようにわかる
その他 (住民交流や生活環境など)について	● 来訪者の駐車場がない → 来訪者に町会の規則を守ってもらい、駐車場が使えるようにする → 空いた駐車場を契約にせず、来客用に確保する
	● タバコ、ゴミのポイ捨て、不法投棄、犬のフンの問題 → 罰金制度を設ける
	● 団地の放送が聞き取りにくい → 町会に聞き取りにくい箇所を調査依頼して増設してもらう

関係機関に支援が求められていること
→ 高齢者のいる世帯は、下の階に優先的に住めるように考慮してほしい → 市より大型スーパーに高齢者向け宅配業務を提案してもらう
<以下について支援を望む声がありました> ● 同居の方が低所得の場合の高齢者の弁当配付を検討してほしい ● 下水処理場の整備 ● 街灯の増設 ● コミュニティバスの運行ルートを増やす ● 避難場所を明確にし、広く市民に告知する ● 建物の耐震性を強化する ● 市民病院の救急体制を整えて欲しい ● 三念寺池の踏切が遮断されていることが多く、危険なので改善してほしい ● 同じ名前の地区があり、郵便物が届かないことがあるので、表示方法を変えてほしい ● 福祉施設（デイサービス・ショートステイ等介護施設）の案内や広報の充実 ● 集会所建設の補助をしてほしい

末広校区

生活に関する課題と今後の取り組みについて (●…課題、→…取り組み)	
福祉 (高齢者や障害者、子ども)について	● 団地の出入りが階段になっており、高齢者にとっては大変
	● 一人暮らしのお年寄りにもっと目配りをもった方が良いのでは → 近所の人の顔を見ないと思ったら声をかけに家までいく
	● 児童の登下校の安全見守りを拡大して欲しい ● 子どもの安全を地域全員で関心を持って欲しい → 何らかの機会をとらえ話をし、地域内で関心を高めるようにする
	● 夜、自動販売機のところで青少年がたむろして怖い ● 夏に末広公園での花火の音がうるさい → 人の子でも注意していく → 親の勉強会を開くなど、地域で話し合う
	● 障害者福祉に関する情報などが市の広報以外で得にくく、少なく感じる ● 道路が狭いのに車がスピードを出し、子どもにとっては危険である ● 団地内の子どもの飛び出しが危ない ● 通学路の時間帯、通行止めが守られていない → 地域で立て看板を作る → 町会で話し合う
	● 子どもだけで安心して遊べる場所が欲しい ● 子ども会に参加したくない人が増えてきた → 保護者が入りたがらないことが多く、町内会で皆と話し合うようにする → 学校の運動場を開放してもらう → 学童保育所を増やすべきでないか（共働きの家庭にとって安全に子どもがいることができる場所が欲しい） → 大人が子どもたちの名前を覚えられるふれあいの場づくりをする
地域福祉活動について	
その他（住民交流や生活環境など）について	● 地区内での交流が少なく、をどのようにすればよいのかわからない → 会議を開いたり、慰労会を開く ● 自転車にいたずらされたり、盗難があり困る ● 夜中の階段の上り下り、ドアの開閉などの騒音 ● 布団や毛布を干す時、ほこりやごみを下に落とす ● ゴミの不法投棄、タバコのポイ捨て、犬のフンの不始末が多い (今回は取り組み案が出ませんでした)

関係機関に支援が求められていること
→ 手すりと、手押し車が通れるスロープをつけてほしい
<以下について支援を望む声がありました> ● 歩道や道路の補修 ● 路上駐車を取り締まり ● 通学路を明確にして欲しい ● 狭い道路の交差点に停止線をつけて欲しい ● 地域の活性化のため、国際空港橋の無料化 ● 道路のバリアフリー化 ● 未広公園のベルの修理 ● りんくう公園付近の植え込みの除去（死角になり、犯罪が起こりかねない）

中央校区

生活に関する課題と今後の取り組みについて（●…課題、→…取り組み）	
福祉 （高齢者や障害者、子ども）について	● 高齢者の一人暮らしの方の異常があったときの対処法について → 月1回訪問されている福祉の方に連絡できるよう連絡網を整える
	● 高齢者との交流について → 月一回のおしゃべり会を開いている → 民生委員にもっと訪問回数を増やしてほしい → 町によって老人活動のあるところとないところの差が激しい
	→ 高齢者への催眠商法の多発 → 回覧板などで注意を促す ● 高齢者宅訪問について喜ばれているか疑問である → 訪問することに意義があるのではないか → 四人の訪問ではなく人数を減らし、回数を多くすれば充実するのではないか ● 高齢者の引きこもり → 隣近所での声掛けや連れ出しをする
	● 子どもを叱る声が頻繁に聞こえる → 虐待につながる様、地域で交流して日頃から注意する
地域福祉活動について	
その他（住民交流や生活環境など）について	● 不法駐車が多い → 地域で見回り、警察からもらったシールを車に貼る → 犬や猫のフンの不始末やゴミの不法投棄（地域外から捨てにくる） → 回覧板で訴え続ける ● 看板を作る ● 夜のバイクの騒音 → 安全パトロール実施 → 深夜の場合は警察に連絡 ● 避難所の認識が薄い → 引っ越して来た方など知らない人に対する説明会を開く ● ひったくりが多発している → 町内でのパトロールや、注意を促すステッカーを配るなどの啓発運動をする ● 自転車の駐車について目の不自由な人や高齢者は道端に乱雑に止めてあると危ないので整理してほしい → 個人のモラルの問題なので、一人ひとりが気をつける

関係機関に支援が求められていること
● 高齢者宅にインターホンを設置する
＜以下について支援を望む声がありました＞ ● 清掃車の時間を遅くしてほしい ● 街灯が暗いので明るくしてほしい ● 駐車場荒らしが多発しているので、パトロールをしてほしい ● 子育てに関する研修や講習会を開いてほしい ● 子どもを安心して遊ばせる場所を提供してほしい ● 避難所の雨漏り箇所などの修理

地域福祉に関する校区検討会報告書

発 行 泉佐野市 健康福祉部 生活福祉課
〒598-8550
大阪府泉佐野市市場東1丁目295-3
電話 0724-63-1212（代）
発行年月 平成17年3月
